

株 主 の 皆 様 へ



第98期 報 告 書

2012年1月1日 ▶ 2012年12月31日

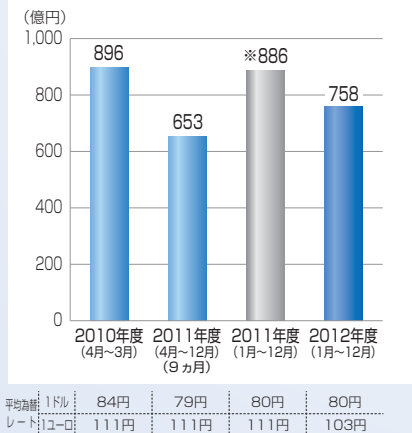
JUKI 株式会社

証券コード: 6440

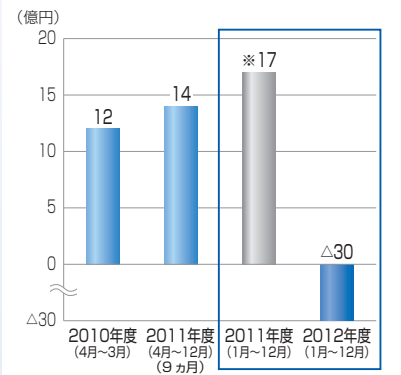
## 業績のポイント

- 世界的な景気減速により設備投資需要が低調。円高や中国での事業リスク顕在化による販売影響等もあり、売上高は前年同期比15%減収
  - 営業・経常・当期純利益とも3期ぶりの赤字
- 売上高** 758億円 (前年同期比 128億円の減少)  
**営業利益** △15億円 (前年同期比 27億円の減少)  
**経常利益** △30億円 (前年同期比 47億円の減少)  
**当期純利益** △83億円 (前年同期比 104億円の減少)

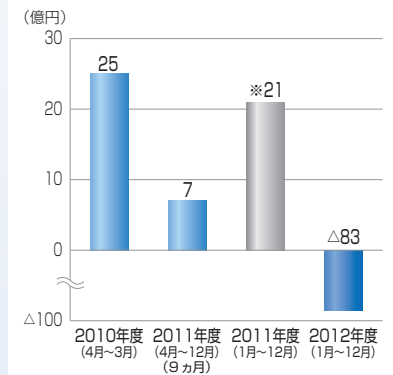
### 売上高



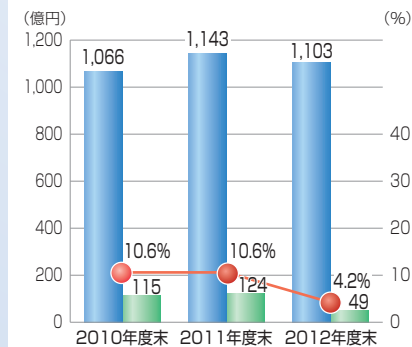
### 経常利益



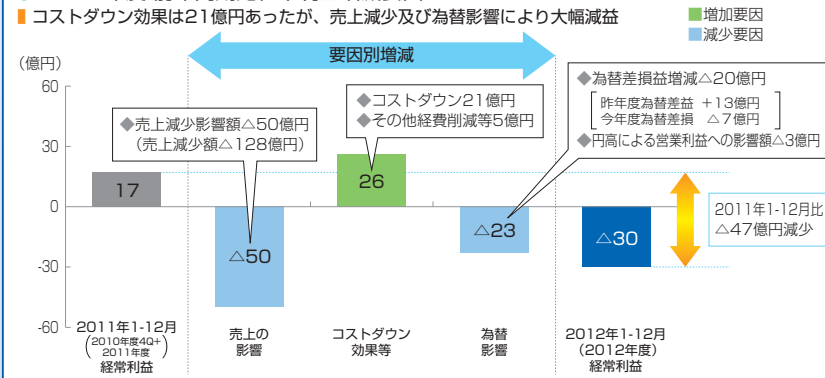
### 当期純利益



### 総資産 純資産 自己資本比率



### 2012年度 前年同期比経常利益増減要因



(注1) 当冊子では、億円単位の金額は単位未満を四捨五入して表示しています。

(注2) 当社は2011年度より、当社グループの連結ベースでの予算編成や業績管理等、事業運営の効率化等を図るため、連結決算日を毎年12月31日に変更いたしました。これに伴い、その経過期間となる2011年度は、2011年4月1日から2011年12月31日までの9ヵ月決算となっています。

※ 参考として前年同期 (2011年1月~12月) の実績を表示しています。

当期は、欧州の財政危機の長期化、中国など新興国市場の経済成長の鈍化などにより世界経済は減速し、縫製工場や電子工場における設備投資需要は低調となりました。また、期末には円安に向かったものの1ドル＝80円前後という著しい円高の長期化や、中国を主要市場とする日本企業の事業リスクが顕在化するなど、当社を取り巻く環境は厳しい状況で推移しました。その結果、当期の連結売上高は758億3千1百万円、連結経常利益は、海外調達の実進などによるコストダウンを積極的に行いましたが、売上高の減少等の影響が大きく29億9千6百万円の赤字となりました。また、当期の業績を踏まえて繰延税金資産51億9千1百万円を取り崩したことなどにより、連結当期純利益は83億4千2百万円の赤字となりました。

この厳しい業績に鑑み、誠に遺憾ながら期末配当を見送りとさせていただきます。株主の皆様には大変申し訳ございませんが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

来期につきましては、厳しい事業環境においても持続的な成長を可能にするため、収益力・財務体質の強化が重要な経営課題となっております。具体的には、損益分岐点売上高の引き下げにより各事業が黒字を確保できる体制を構築し、マーケット戦略の選択と集中により強い事業基盤の構築を図ります。合わせて在庫削減などによりキャッシュ・フローの改善を図ってまいります。このために、「JUKI構造改革プラン」を策定し、これに基づき「バリューチェーン構造改革」と「事業構造改革」の2つの構造改革を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長

清原 晃

## 経営環境

- 欧州財政危機の長期化
- 新興国市場の経済成長鈍化
- 円高の長期化（1ドル=80円前後）
- 中国での事業リスク顕在化
- グローバル競争は一段と厳しい

世界経済は2011年度より更に減速

縫製工場や電子工場における設備投資が低調

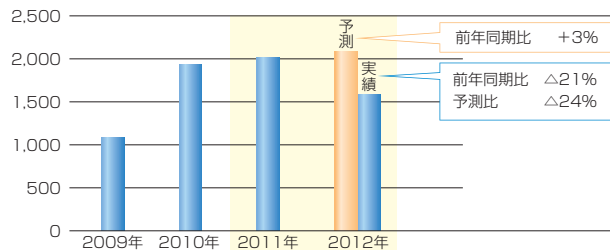
工業用マシン、マウンタとも予測を大幅に下回る市場規模に縮小

## ● 工業用マシンとマウンタの市場規模と実績

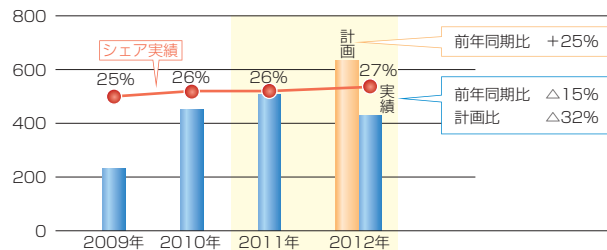
### 【工業用マシン[製品]（除くパーツ等）】

- 市場規模は前年同期比△21%と大幅縮小。施策効果によりシェアはアップ

市場規模 ※データ：自社推計 (単位：億円)



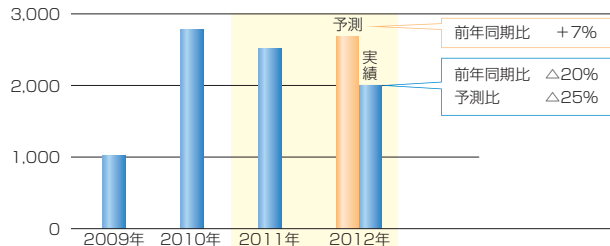
JUKIの売上高 (単位：億円)



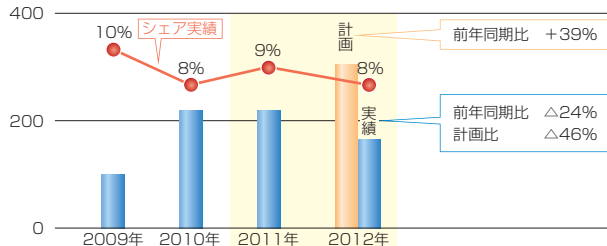
### 【マウンタ】

- 市場規模は前年同期比△20%と大幅縮小。市場の縮小以上に販売が落ち込みシェアはダウン

市場規模 ※データ：自社推計 (単位：億円)



JUKIの売上高 (単位：億円)

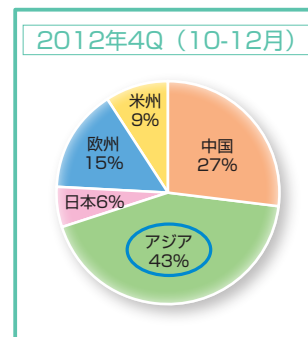
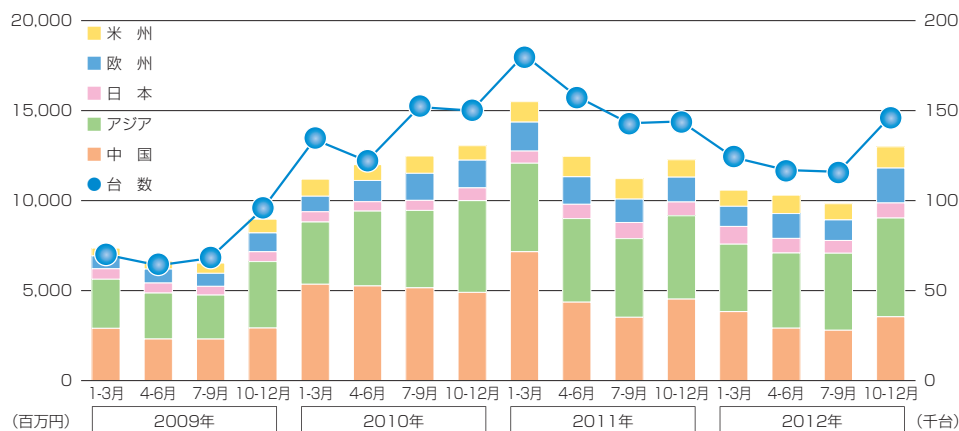


## 縫製機器事業

中国においては縫製品の欧米向け輸出が減少し、加えて縫製工場の東南アジア地域への産地移動の影響などで設備投資需要が減少し、また、中国以外の地域においても世界経済の減速などの影響を受け設備投資需要が低迷しました。一方、自動車シートやスポーツシューズ

などアパレル以外の縫製事業向けの売上を伸ばしてきたことや下期においては新製品投入などにより一部をカバーしたものの市場低迷による影響が大きく、縫製機器事業全体の売上高は524億2千4百万円(対前年同期比11.5%減)となりました。

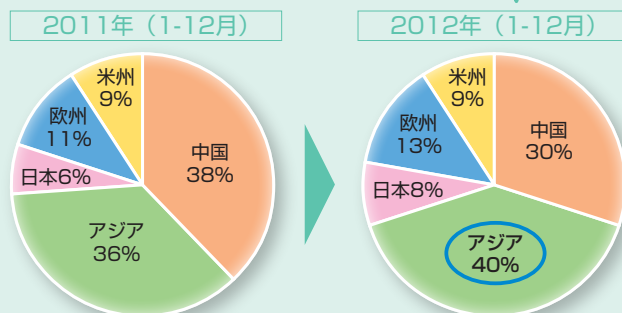
### ● 工業用ミシン地域別[製品]売上高推移



### ● 売上高 (工業用ミシン [製品]) : 前年同期比較 (単位: 億円)

	2011年 (1-12月)	2012年 (1-12月)	増減額	増減率
中国	196	131	△ 65	△ 33%
アジア	186	177	△ 9	△ 5%
日本	31	33	2	6%
欧州	58	56	△ 2	△ 3%
米州	44	40	△ 4	△ 9%
合計	515	437	△ 78	△ 15%

### ● 売上高構成比率 (工業用ミシン [製品])

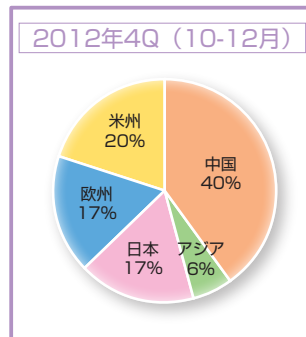
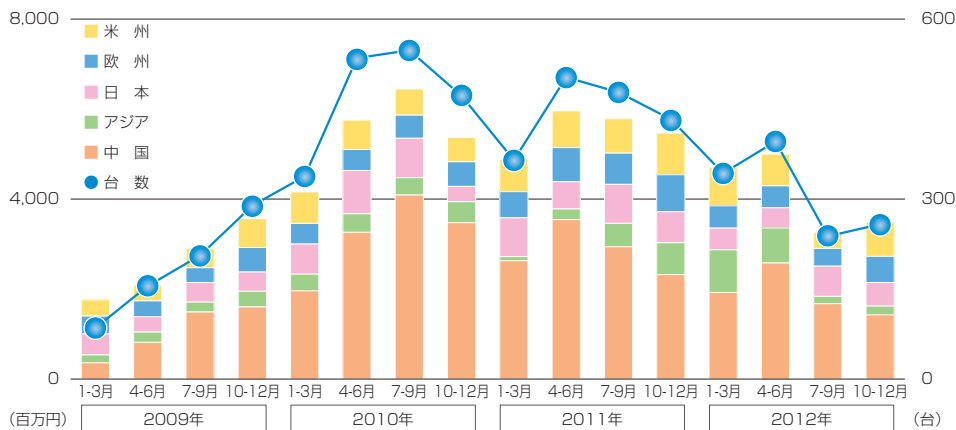


## 産業装置事業

最大の市場である中国においては特に下期に入り設備投資抑制などの影響が顕著に現れ、欧米においても景気減速などの影響を受け売上が大きく減少しました。

加えて、海外企業の台頭で競争が激化してきたことなどにより、産業装置事業全体の売上高は164億8千万円(対前年同期比24.6%減)となりました。

### ● 地域別売上高推移



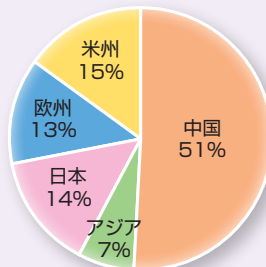
### ● 売上高：前年同期比較

(単位: 億円)

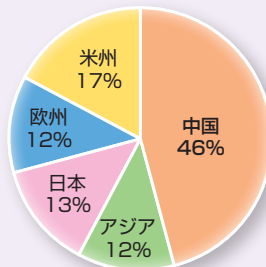
	2011年 (1-12月)	2012年 (1-12月)	増減額	増減率
中国	113	76	△ 37	△ 33%
アジア	16	20	4	25%
日本	30	22	△ 8	△ 27%
欧州	29	20	△ 9	△ 31%
米州	33	27	△ 6	△ 18%
合計	221	165	△ 56	△ 25%

### ● 売上高構成比率

2011年 (1-12月)



2012年 (1-12月)



## 環境認識

- 世界経済の減速
- 中国の経済成長の鈍化
- 円安基調にあるも不確実
- グローバルの競争環境は一段と厳しさを増している

国際政治や世界経済の構造問題は当面続く

厳しい事業環境は今後も続く

### 目的

## 厳しい事業環境においても持続的な成長を可能とする

現行の「飛躍への戦略的プラン-中期経営計画（2011-2013年度）」の見直しを行い、各事業について早期に構造改革を進めるとともに、キャッシュ・フロー重視の財務戦略により、収益力・財務体質強化を図ります

## JUKI構造改革プラン

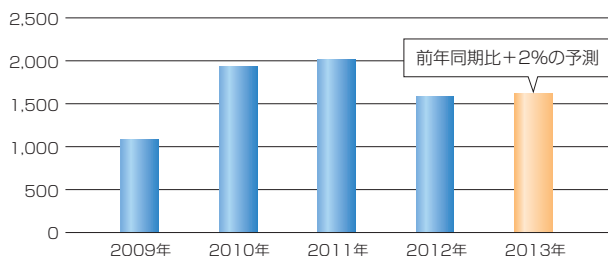
1 バリューチェーン構造改革 [コスト削減施策]

2 事業構造改革 [増収増益施策]

## ● 工業用ミシンとマウンタの市場規模予測

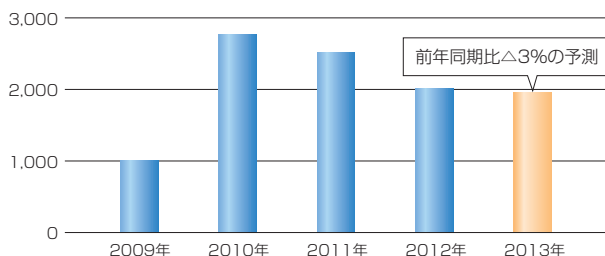
### 【工業用ミシン【製品】（除くパーツ等）】

市場規模 ※データ：自社推計 (単位：億円)



### 【マウンタ】

市場規模 ※データ：自社推計 (単位：億円)



## 1 バリューチェーン構造改革 [コスト削減施策]

損益分岐点売上高の引き下げにより、2012年度と同水準の売上高でも黒字を確保できる体制の構築を図ります

■ 4つの業務プロセス [(営業・製造・開発・管理) =バリューチェーン] において、聖域なき固定費・変動費の削減を実施します

- ① 営業固定費の削減
- ② 製造原価の低減 (トータルコストダウン)
- ③ 開発の効率化
- ④ 管理間接部門のスリム化

上記施策を受けた人事施策および在庫削減によるキャッシュ・フロー改善の実施

## 2 事業構造改革 [増収増益施策]

トップブランドを有するグローバル企業として更に成長していくための強い事業基盤の構築を図ります

■ マーケット戦略の選択と集中により、縫製機器事業、産業装置事業とも経営資源を成長市場・得意領域に集中投入します

### ① 縫製機器事業：重点市場と事業領域の拡大

1 **重点市場** 東南アジア・南アジア等の成長する新興国へ体制をシフト

2 **重点事業領域** ノンアパレル、ニット、パーツ、家庭用ミシンを強化

└ 布帛は自動機の営業を徹底

└ 大手顧客の特注開発業務にも注力 (事業領域拡大)

重点市場への販売体カシフト

アライアンスによる事業領域の拡大

### ② 産業装置事業：得意領域への重点化と事業領域の拡大

1 **得意領域** 汎用ライン等に特化 (LED市場の攻略等)

└ チップライン

2 **事業領域拡大** 省人化・省力化市場での販売展開

重点市場の販売体制強化 (代理店体制の再構築)

アライアンスによる事業領域の拡大

### ③ 重点市場への販売体カシフト

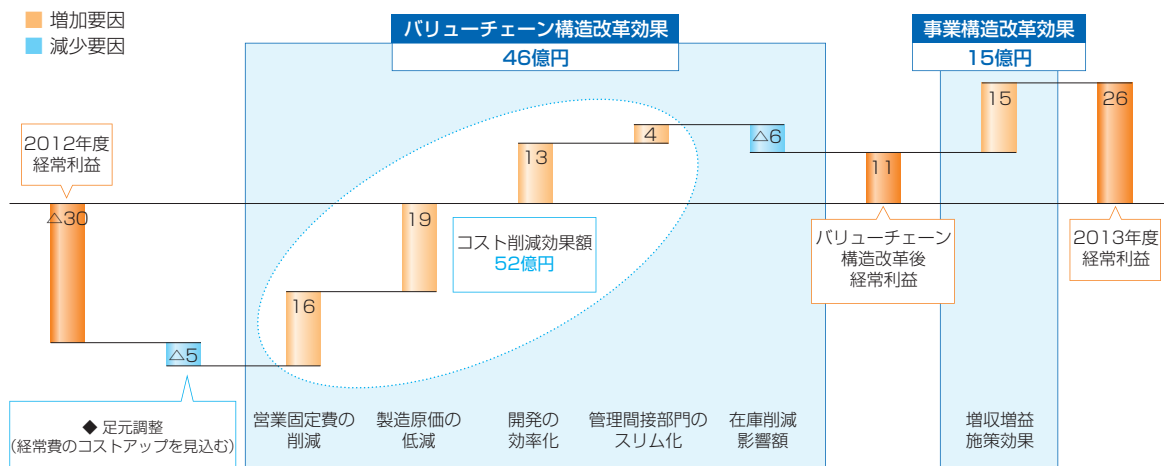
増収増益施策を実施



## ● JUKI構造改革プランの効果

### ● 経常利益増減 (2013年度)

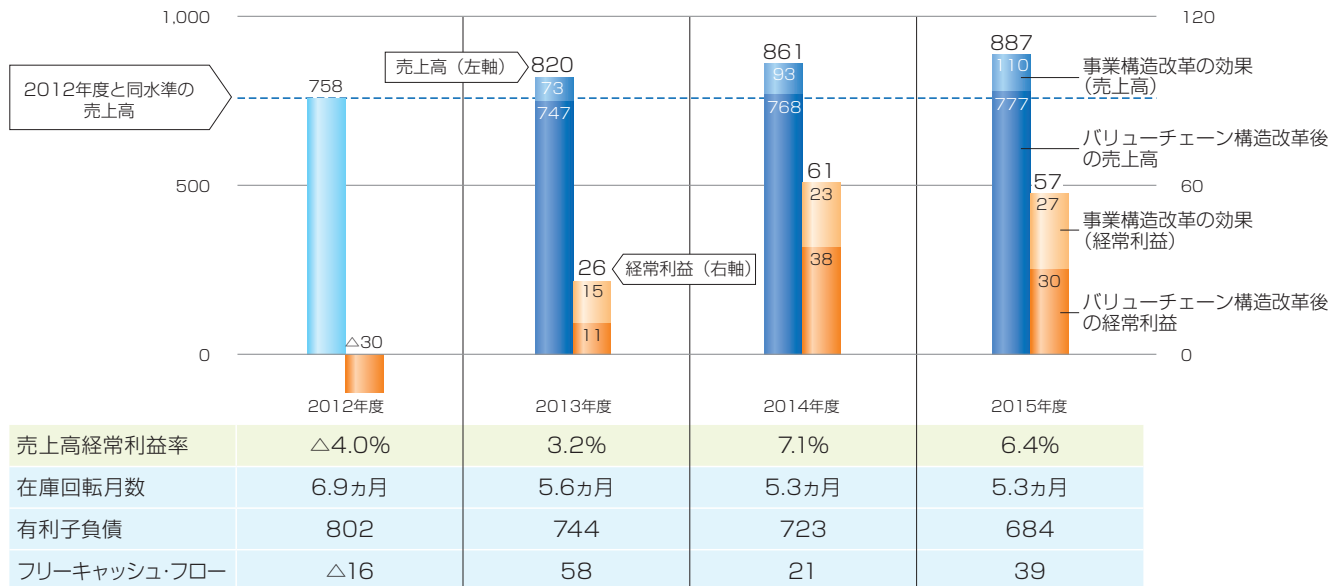
(単位：億円)



### ● JUKI構造改革プランの効果 (3カ年)

※2013年度の連結業績予想は未定であり、算定が可能となった時点で開示いたします

(単位：億円)



# 連結財務諸表（要旨）

## 連結貸借対照表

(百万円)

科 目	前 期	当 期
	2011年12月31日現在	2012年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	73,504	75,641
現金及び預金	6,241	8,066
受取手形及び売掛金	20,978	21,193
たな卸資産	42,151	43,591
※ 繰延税金資産	766	671
その他	3,365	2,119
固定資産	40,759	34,700
有形固定資産	29,562	28,471
建物及び構築物	17,223	15,970
機械装置及び運搬具	3,181	2,860
工具、器具及び備品	875	1,373
土地	7,464	7,411
その他	817	854
無形固定資産	1,633	1,492
投資その他の資産	9,563	4,736
投資有価証券	1,917	2,255
※ 繰延税金資産	6,457	1,206
その他	1,187	1,274
資産合計	114,263	110,341

(百万円)

科 目	前 期	当 期
	2011年12月31日現在	2012年12月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	67,596	72,490
支払手形及び買掛金	14,427	10,112
短期借入金・社債等	47,739	54,382
為替予約	—	2,124
その他	5,424	5,868
固定負債	34,305	32,917
長期借入金・社債等	26,089	25,789
退職給付引当金	6,535	6,571
その他	1,680	555
負債合計	101,901	105,407
<b>純資産の部</b>		
株主資本	19,538	10,580
資本金	15,950	15,950
利益剰余金	3,646	△ 5,310
自己株式	△ 58	△ 59
その他の包括利益累計額	△ 7,436	△ 5,939
為替換算調整勘定	△ 7,378	△ 6,024
その他	△ 58	84
少数株主持分	260	293
純資産合計	12,361	4,934
負債純資産合計	114,263	110,341

※繰延税金資産：当期の業績を踏まえて回収可能性について慎重に検討した結果、52億円を取り崩しました。

## 連結株主資本等変動計算書

(百万円)

当 期 2012年1月1日から 2012年12月31日まで	株主資本				その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	15,950	3,646	△ 58	19,538	20	△ 78	△ 7,378	△ 7,436	260	12,361
当期変動額										
連結範囲の変動		△ 226		△ 226						△ 226
剰余金の配当		△ 387		△ 387						△ 387
当期純損失		△ 8,342		△ 8,342						△ 8,342
自己株式の取得			△ 0	△ 0						△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					200	△ 58	1,354	1,496	33	1,530
当期変動額合計	—	△ 8,957	△ 0	△ 8,957	200	△ 58	1,354	1,496	33	△ 7,427
当期末残高	15,950	△ 5,310	△ 59	10,580	220	△ 136	△ 6,024	△ 5,939	293	4,934

## 連結損益計算書

(百万円)

科 目	前期	当期
	2011年 4月 1日から 2011年12月31日まで	2012年 1月 1日から 2012年12月31日まで
売上高	65,326	75,831
売上原価	48,018	56,868
売上総利益	17,307	18,963
販売費及び一般管理費	16,491	20,414
営業利益又は営業損失 (△)	815	△ 1,451
営業外収益	1,804	979
営業外費用	1,245	2,524
経常利益又は経常損失 (△)	1,374	△ 2,996
特別利益	802	447
特別損失	724	62
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	1,453	△ 2,611
法人税等	697	5,721
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失 (△)	756	△ 8,333
少数株主利益	29	9
当期純利益又は当期純損失 (△)	726	△ 8,342

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科 目	前期	当期
	2011年 4月 1日から 2011年12月31日まで	2012年 1月 1日から 2012年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,248	△ 1,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 888	283
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,192	3,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 290	490
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,235	2,165
現金及び現金同等物の期首残高	7,077	5,740
決算期変更に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 100	—
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	54
現金及び現金同等物の期末残高	5,740	7,960

## ■ 会社概要

商 号	JUKI株式会社
創 立	1938年12月15日
資 本 金	159億5,026万円
本 社	東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
決 算 期	12月
営 業 品 目	工業用マシン／産業装置／家庭用マシン他
従 業 員 数	6,498名 (連結)
連結子会社数	31社

## ■ 株式の状況

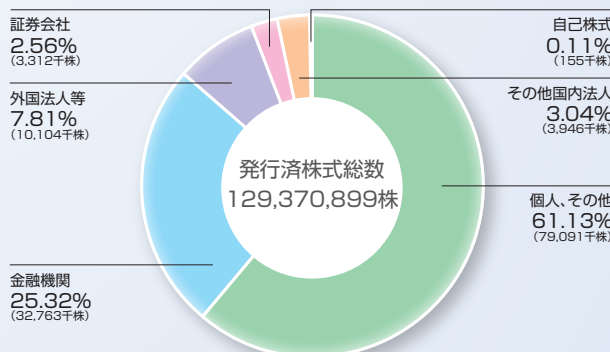
- 発行可能株式総数…………… 400,000,000株
- 発行済株式総数…………… 129,370,899株
- 株主数…………… 15,603名

## ■ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	4,690,320	3.62
日本生命保険相互会社	4,306,968	3.33
朝日生命保険相互会社	3,556,000	2.75
第一生命保険株式会社	2,558,000	1.97
明治安田生命保険相互会社	2,300,000	1.77

(注) 持株比率は自己株式(115,570株)を控除して計算しております。

## ■ 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
定時株主総会基準日	12月31日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="http://www.juki.co.jp">http://www.juki.co.jp</a> ) ただし、電子公告を行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード：6440)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
(同事務取扱場所)	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社 になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券ではお取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

## ホームページのご案内



<http://www.juki.co.jp>

# JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1  
TEL: 042-357-2211